

no.2
2020.3.30

藤木卓一郎の

いいこと新聞

今回の

視点

大丈夫じゃないかも!?

SAGAサンライズパーク内のアリーナ建設に寄せて



【前語り】

今年度の11月及び2月定例県議会では二つの大きな議論がありました。一つは言わずと知れた新幹線問題。そしてもう一つが現在、「SAGAサンライズパーク」と名称が変わった佐賀県総合運動場に建設中のSAGAアリーナに関する問題でした。そもそもアリーナとは傾斜のある観客席（スタンド）に全周に渡って囲まれた競技場や劇場のことを指します。SAGAアリーナ建設の何が問題かと言えば三つあります。それはその規模と金額と駐車場の問題です。つまり、こんな大きな建物をこんなに道路の狭いところにこんなにお金を出して大丈夫?というものです。私は以下に書き記す心配を論点に猛然と反対を表

明しました。一旦ここは立ち止まって、佐賀県の今とこれからを踏まえて、その間尺に合った施設に再検討すべきというものです。私の意見に与する者は当然ながら多かったのですが、議会は生き物です。結果的にはこの補正を通すことで決着を致しました。反対の論拠たる心配はなお残ったままではあります。結果的にせよ通した以上はこれをしつかり管理しながらも、その発展に応援する必要もこれであり、今回はこの問題について述べてみたいと思います。

【経緯】

2023年10月、何と本県に国体が行われます。これは11日間に渡って全県で開催され、今上天皇も来佐されるまさに日本のアスリートの祭典です。1976年、今から44年前皆がまだ若々しかったあの頃、あの懐かしい若楠国体が開催されており、あれから2度目の国体がいまに開催されようとしております。今回はその名称が国民体育大会及び全国障害者体育大会から全国スポーツ大会及び全

国障害者スポーツ大会へと変わった記念すべき第1回目の大会となります。

先の大会ではその国体に併せて現在の総合運動場が建設されましたし、国道34号線北部バイパスや西部環状線の建設、並びに佐賀駅舎の移転等もあっております。

それでは今回の国体では何をやるのかという事ですが、私共と致しましてはこのSAGAアリーナの建設を核としたSAGAサンライズパークの整備を企画致しました。要するに現在ある競技場の未来を見据えたりニューアルオープンの始まりだと言う事です。

《佐賀県総合運動場は名称が変わりました。たまさかあの地が佐賀市日の出地区と申しますので日の出は英語でサン・ライズ、そこであの施設の名称をSAGAサンライズパークと称することに致しました。》



「パーク内の整備」

何が整備されるの？

まずはアリーナが建設されま
す。次に仮称ですがSAGAア
クアと称する水泳場です。これ
は25mプールの全面改装。50m
プール及び飛び込みプールの新
築となります。

陸上競技場についてはトラッ
ク内の全面改修及び雨天走路の
新設。球技場は人工芝に張り替
えます。総合体育館は床の張り
替えと、今回はなんと空調を入
れます。補助競技場は走路の改
修。テニスコートは新しく2面
の増設。ボクシング場、フェン
シング場、エアライフル射撃場
は移転新築と言う事になってお
ります。最後にはその他水泳場
とアリーナと陸上競技場と佐賀
市文化会館をデッキで繋ぐこ
とに致して
おります。



そしてその
デッキの下
にはレスト
ラン等の各
種テナント
が入ること
になってい
ます。

問題1

「540億円という金額」

私も他の事業については普段
から1億、10億について高いの
安いのと議論しておりますが、
この540億円という金額は確
かに高い。またこれに維持管理
費が年間約5億円。それが50年
にわたって掛かる経費ですから
250億円がこれに乗せられ
て総額790億円の世紀のビッ
グプロジェクトになってしま
いました。

また、その中核施設たるSAGA
アリーナについては平成30
年8月当初、145億円の計画
でスタートし、その半年後つま
り平成31年2月で197億円へ
と増額されます。ここまでは軟
弱地盤対策や備品購入や消費税
等という必要な予算の増額でし
たから普通に納得も致しまし
た。しかしそれから当初予定し
た金額での入札が不落となり、
尚且つ応募者がたったの1社。
なんとこれではこの事業が単独
1社の随意契約、まるで本件は
入札者の言い値で建設するかの
ような状況に追い込まれてし
まったのです。その間こうした
状況について納税者の代表たる

議会には何ら相談することも無
く11月定例県議会で突如、佐賀
県政史上初の60億円という巨額
の補正予算の承認要求に対し議
会も否応もなくこの問題に対し
真剣に向き合わざるを得なく
なったのです。

これでアリーナに関する建設
予算は何と257億円にも膨
み、設計の中身はほぼ変わらな
いののに、何で僅か半年の間で60
億円ものお金が必要になった
の？何で60億円の積算の根拠を
明確に示さないの？何で議員一
人ひとりに誠意をもって説明を
尽くさないの？と言う事で議会
も大騒ぎになったのでした。

問題2

「席数8,400という規模」

次に席数が問題でした。こん
な大人数が集まるの？

不安1 実績の問題

この施設の席数は8,400
席。この席数は佐賀市文化会館
大ホール1,811席や県総合
体育館の2,118席と比べて
も4倍以上の席数になってお
り、これは明らかに過剰能力で
はないかと心配しているのです。
久光製薬が所有する久光製薬

スプリングス。かのチームが加
盟するバレーボールリーグ、V
リーグの平均入場者数は2,3
00人です。また本県がその将
来を大変期待している佐賀パ
ルナーズ。かのチームが加盟
するバスケットボールリーグ、
Bリーグ。その中でもB1リー
グで3,000人、B2リー
グで1,500人、佐賀パルナー
ズが所属するB3リーグはなん
と数百人規模の入場者だと言
うのです。これではアリーナ観客
席の3割にも満たないことに
なってしまう。

コンサートでも然りです。本
県でも紅白歌合戦に出場する程
の人気歌手のコンサートなども
度々開催されてはおりますが、
それとて全部が全部佐賀市文化
会館を満席にすることはできま
せん。

不安2 人口減少の問題

8,400席と言う数に対す
るもう一つの不安は本県の総人
口が大きく減少すると言う事
です。この施設の利用期間は50年
以上を想定されておりますが、
政府の試算では25年後には現在
の83万人から16万人減って約66
万人になると推計されており、

さらにそれから25年後にはおそらく50万人台、40万人台の規模になって参ります。その時、私たちの子や孫、ひ孫たちはこの施設の面倒を本当に見て行けるのかと言う心配が残ります。

不安3 競合他者の問題

今世の中はアリーナ建設ブームであります。現在、東京ドームや横浜アリーナみたいな施設、例えば10,000人以上が収容できる施設は全国に何と75施設。5,000人から10,000人までの施設が18施設もあります。九州には既に10,000人以上の施設が4施設。5,000人以上10,000人未満の施設が1施設あり、そこに改めて近々鹿児島、宮崎、佐賀、長崎と4施設が完成します。世の中スタジアム、アリーナ多すぎじゃね？そんな中でうちは大丈夫なの？と皆さんの心配の声が聞こえてくるようです。新規アリーナを含めてこれらアリーナとの競争激化によりコンサート等の誘致がいよいよ難航するのでは？ととても心配しているのです。

問題3

【駐車場問題】

現在でも佐賀市文化会館大ホールでの大型イベントが開催される際はその周辺道路では交通渋滞が発生しているのに、8,400人規模でのイベントを開催した場合は周辺道路の状況はどうなるの？例えば原則、車での入場はお断りとなった場合、入場者の誰もが佐賀駅からSAGAアリーナまで歩いて行くこととなります。そこで、じゃあ電車やバスが無いとは？またはそんなに長く歩けない高齢者や障害者はどうなるの？との疑問が湧いてくるのです。

【県の考え】

佐賀アリーナはスポーツだけではなくコンサートや各種団体の全国大会やビジネス展示会などにも幅広く活用致しますし、何よりバスケット等のオリンピック予選、ワールドカップなどの国際試合には8,000席以上の席数が必要とのこと。また超有名歌手のコンサートでも全国のアリーナを回るアリーナツアーに組み入れるためには同じように8,000席以上の席数

が必要との意見もあって、そのように決定したとの事でした。

私はその回答に管理者代表の電通(株)頼みでこの施設の未来に對しさした見通しも無いように感じてしまいます。

次に駐車場問題について県の考えでは、現在、1,350台分の駐車場があります。完成後にはSAGAサンライズパークの敷地内に臨時も含めて1,710台分の駐車場が整備されることとなりますので、通常の利用分では今以上の駐車台数は確保されそうです。

ただ8,400人の人々が集まる大規模イベントの折には周辺エリアの大混雑が予想されます。そこで原則、車での入場はお断りとなり、入場者はほぼどの関係者でもない限り電車及びバス、タクシー等の公共交通機関を利用すると言う事です。またはパークアンドライド方式を採用して、どこかの大きな敷地まで車で来てもらってそこから大型バスのピストン輸送で対応すると言う事であり、特別な高齢者や障害者には障害者用パークキングをしっかりと確保する。といった具合でこの問題の解決を図ろうとしています。それしか

ないとは思いますが、みんなあの1・4キロの距離を歩くのかなあ？まだまだ疑問や課題は残ります。

【アリーナの利活用策】

このアリーナはどんな風にかわれるの？

このアリーナの利活用にあたって、その可能性は先に述べた通り、まずは久光製薬スプリングスを始めとするVリーグ。または佐賀バルーンズを始めとするBリーグ。バスケット等のオリンピック予選、ワールドカップなどの国際試合。各種団体の全国大会やビジネス展示会など。

そしてこれからが目玉となるのですが、超有名歌手のアリーナツアーと言う事になります。ここからは私の私見ですが、例えば羽生結弦選手らのアイスショー。子供たちが喜ぶ東京ガールズコレクションのようなファッションショー。劇団四季等の



藤 木 卓 一 郎 の
い い こと 新 聞

ミュージカルや演劇。シルク・ド・ソレイユ等のサーカス。または、かつて大いに賑わったスパーカーショーの現代版とも言えるモーターショーなど大いに期待致しましょう。《電通(株)によれば佐賀アリーナが対象にすべきアーティストとは、例えば矢沢永吉、松任谷由美、さだまさし、倅田來未、浜崎あゆみ、GLAY等ということです。》

【利用者への配慮】

ここが私の要望が一番突ったところですよ。

従来の施設では例えば佐賀市文化会館などではシートの幅が狭く、そして固い。それ故長時間の観戦や観賞には不向きで腰やお尻が痛くなったり、酷く疲れたりしています。またシートの前後の通路も狭く、トイレや電話など急に席を立つての移動の際には周囲に大変迷惑をかけることが普通でしたが、今度のアリーナはお金をかけている分違います。まずシート幅が広く長時間座っても疲れないシートである事。次に途中退席しても周囲に迷惑をかけないような幅

の通路を設けている事。さらに自席で飲食しながら観戦・鑑賞が可能だけでなく、観戦しながら食事もできる特別なブースを設けていること。

そして最後にこの施設では女性用のトイレも最大限増やしておりますし、トイレ周辺の混雑はありません。そういった点については皆さんの満足頂ける仕様になっております。

【最後に】

本県が他県において欠けている決定的なもの一つは文化や芸術又はスポーツ等が日常的に私たちの暮らしや人生の中にあまりないと言う事です。それはそういった本物の人やモノそしてパフォーマンスに触れる機会があまり無かったからだし、そういういった施設を今まで持ち得なかったからだと言えます。

540億円という金額は確かに高い。しかしこの2023年、第78回全国スポーツ大会佐賀大会を記念して作るこの施設を通して、これからの50年、私たちは本物に触れ続け、ドキドキしたりワクワクしたり泣いた

り笑ったり深い感動のある暮らしを生きて行く。そんな県民みんなの満足に資する施設になればと願って止みません。

確かに本議案は通りました。しかし、私は今尚心配です。この施設の未来における利活用の問題。またこの施設に入場するための交通アクセスの問題。540億円と言う金額がもたらす佐賀県財政への影響等。そう言った意味でこの施設が県政の負の遺産ではなく輝かしきスポーツ及び文化の聖地となるようこの問題に対して皆さんの目線に立ってさらなる満足が得られるように、益々粘り強く明確な発言をして参ります。

以上



ふじき 卓一郎 たくいちろう



私はいつでも皆さんの傍らにいます。取り組んで欲しい事などありましたら、遠慮なく私にお声掛け下さい。

藤木卓一郎 後援会事務所

- 電話 0952(73)3243
- ファックス 0952(73)3064
- メール fujiki@b2.bunbun.ne.jp

〒845-0033 佐賀県小城市三日月町樋口字江口227番地